

策定趣旨

- 埼玉県のがん対策を総合的、計画的に推進するための計画（政策的に関連の深い関連計画として第 8 次埼玉県地域保健医療計画に組み込む）
- 第 3 期計画の終期は令和 5 年度であるため、第 4 期がん対策推進基本計画（国計画）に基づき、新たな計画を策定

目指すべき姿

- 誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とともにがんの克服を目指す

分野別施策

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

- （1）がんの 1 次予防
- （2）がんの 2 次予防（がん検診）

2 患者本位で持続可能ながん医療の提供

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

- （1）がん医療提供体制等
- （2）がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- （3）希少がんおよび難治性がん対策の推進
- （4）小児がん及びAYA世代、高齢者のがん対策

3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

- （1）相談支援及び情報提供
- （2）社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- （3）がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)

【これらを支える基盤の整備】

- （1）人材育成の強化
- （2）がん教育とがんに関する知識の普及啓発
- （3）がん登録の利活用の推進
- （4）患者・市民参画の推進
- （5）デジタル化の推進

【計画推進のための役割】

県民、患者団体等、拠点病院等、その他の医療機関等、保険者、事業者、県、市町村の役割

【指標】

がん検診受診率

主な見直しのポイント

- がん検診受診率の目標値引き上げ（一部の部位で受診率50%を達成できた年度もあることから、目標値を国計画と同様に50%から60%に引き上げ）
- 「アピアランスケア」を独立した項目として記載（治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加する中で、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要であることから、国計画と同様に記載）

第 4 期埼玉県がん対策推進計画の概要（案）

（参考）

【参考】構成比較

第 4 期国計画	第 3 期県計画	第 4 期県計画（案）	備 考
はじめに	第 1 章 総論		項目廃止・第 8 次埼玉県地域保健医療計画第 1 部「基本的な事項」に趣旨を記載
	第 2 章 がんを取り巻く現状と課題		項目廃止・国計画の体系に合わせ、「第 2 章 分野別施策」の項目ごとに記載
第 1 全体目標と分野別目標	第 3 章 全体目標	1 目指すべき姿	
第 2 分野別施策	第 4 章 具体的な取組	2 現状と課題及び課題解決に向けた主な取組	
1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	1 がん予防	（1）科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	
（1）がんの 1 次予防	（1）予防対策の推進（生活習慣の改善）	ア がんの 1 次予防	
（2）がんの 2 次予防（がん検診）	（2）がん検診の受診率及び質の向上	イ がんの 2 次予防（がん検診）	
	（3）女性のためのがん対策の推進		項目廃止・国計画の体系に合わせ、「(1)イがんの 2 次予防（がん検診）」の中に記載
	（4）感染に起因するがんの予防対策		項目廃止・国計画の体系に合わせ、「(1)アがんの 1 次予防」の中に記載
2 患者本位で持続可能ながん医療の提供	2 がん医療の充実	（2）患者本位で持続可能ながん医療の提供	
（1）がん医療提供体制等	（1）がん医療の充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成	ア がん医療提供体制等	
		イ がんと診断された時からの緩和ケアの推進	国計画の体系に合わせる（第 3 期県計画の「3(1)がんと診断された時からの緩和ケアの推進」から移動）
（2）希少がん及び難治性がん対策		ウ 希少がん及び難治性	新規項目・国計画の体系に合わせる
（3）小児がん及びAYA世代のがん対策	（2）小児がん・AYA世代のがん対策の充実	エ 小児がん及びAYA世代、高齢者のがん対策	
（4）高齢者のがん対策			項目建てせず、一部「(2)エ小児がん及びAYA世代、高齢者のがん対策」の中に記載
（5）新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装			国の施策のため、項目建てしない
	（3）がん登録の推進		項目廃止・国計画の体系に合わせ、「(4)エがん登録の利活用の推進」の中に記載
3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	3 がんとの共生	（3）がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	
	（1）がんと診断された時からの緩和ケアの推進		国計画の体系に合わせる（「(2)イがんと診断された時からの緩和ケアの推進」に移動）
（1）相談支援及び情報提供	（2）情報提供・相談支援の充実	ア 相談支援及び情報提供	
	（3）がん患者の在宅医療の推進		項目廃止・国計画の体系に合わせ、「(2)アがん医療提供体制等」の中に記載
	（4）がんの教育と普及啓発		国計画の体系に合わせる（「(4)イがん教育及びがんに関する知識の普及啓発」に移動）
（2）社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援		イ 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援	新規項目・国計画の体系に合わせる
（3）がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）	（5）働く世代へのがん対策の充実	ウ がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）	
（4）ライフステージに応じた療養環境への支援			項目建てせず、一部「(2)エ小児がん及びAYA世代、高齢者のがん対策」の中に記載

（次ページに続く）

第 4 期埼玉県がん対策推進計画の概要（案）

（参考）

【参考】構成比較

第 4 期国計画	第 3 期県計画	第 4 期県計画（案）	備 考
4 これらを支える基盤の整備		（ 4 ） これらを支える基盤の整備	新規項目・国計画の体系に合わせる
（ 1 ） 全ゲノム解析等の新たな技術を含むさらなるがん研究の推進			国の施策のため、項目建てしない
（ 2 ） 人材育成の強化		ア 人材育成の強化	新規項目・国計画の体系に合わせる
（ 3 ） がん教育及びがんに関する知識の普及啓発		イ がん教育及びがんに関する知識の普及啓発	国計画の体系に合わせる（第 3 期県計画の「3(4)がんの教育と普及啓発」から移動）
（ 4 ） がん登録の利活用の推進		ウ がん登録の利活用の推進	新規項目・国計画の体系に合わせる
（ 5 ） 患者・市民参画の推進		エ 患者・市民参画の推進	新規項目・国計画の体系に合わせる
（ 6 ） デジタル化の推進		オ デジタル化の推進	新規項目・国計画の体系に合わせる
第 3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項	第 5 章 計画推進のための役割	（ 5 ） 計画推進のための役割	
1 関係者等の連携協力の更なる強化			項目廃止・第 8 次埼玉県地域保健医療計画第 1 部「基本的な事項」に趣旨を記載
2 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策			項目建てせず、「(2)アがん医療提供体制等」の中に記載
3 都道府県による計画の策定			項目建てせず、計画冒頭に記載
4 国民の努力	1 県民に期待される役割	ア 県民の役割	
	2 患者団体に期待される役割	イ 患者団体等の役割	
	3 医療機関等の役割	ウ 拠点病院等の役割	
		エ その他の医療機関等の役割	
		オ 保険者の役割	
		カ 事業者の役割	
	4 行政の役割	キ 県の役割	
		ク 市町村の役割	
5 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化			項目建てせず、第 8 次埼玉県地域保健医療計画第 1 部「基本的な事項」に趣旨を記載
6 目標の達成状況の把握			項目建てせず、第 8 次埼玉県地域保健医療計画第 1 部「基本的な事項」に趣旨を記載
7 基本計画の見直し			項目建てせず、第 8 次埼玉県地域保健医療計画第 1 部「基本的な事項」に趣旨を記載
		3 指標	新規項目・第 8 次埼玉県地域保健医療計画の統合方針に基づくもの
	用語の解説		項目廃止・第 8 次埼玉県地域保健医療計画の統合方針に基づくもの※一部は計画本文に記載